

第2回 AI・IoT・ロボット 導入による 生産性向上 支援セミナー

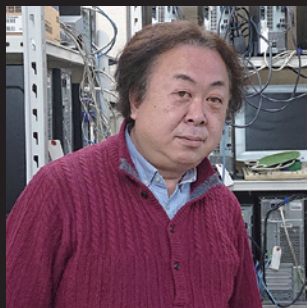
2020.2.14(金) 13:00 開会
12:30 受付開始
京都経済センター 3階会議室 (3-H)
参加費無料



(一社)日本ディープラーニング協会
林 憲一 氏



株式会社知能情報システム
橋田 泰彦 氏



アイ・オーシステム株式会社
後藤 哲 氏



Gyrfalcon Technology Japan KK
西口 泰夫 氏

プログラム

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:15 事務連絡

13:15-13:55 基礎講演

「ディープラーニング」最前線と JDLA の取り組み

(一社)日本ディープラーニング協会 マーケティングディレクター
林 憲一 氏

14:00-14:40 事例講演 1

ものづくりにおける AI の導入事例

株式会社知能情報システム

橋田 泰彦 氏

14:40-14:55 休憩

14:55-15:35 事例講演 2

人工知能運用時代のリスク

アイ・オーシステム株式会社 取締役 CTO

後藤 哲 氏

15:40-16:40 特別講演

edge AI の最前線と中小企業が AI を活用するためのシステム構築

Gyrfalcon Technology Japan KK 代表取締役会長兼 CEO

西口 泰夫 氏

16:40-16:50 事務局連絡

産総研の大規模 AI クラウド計算システム (ABCI) の紹介

16:50

閉会・アンケート回収

主催

(公財) 関西文化学術研究都市推進機構、(公財) 京都産業 21、京都府、京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト推進協議会

第2回 AI・IoT・ロボット導入による生産性向上支援セミナー

雇用の確保が厳しい昨今、「AI・IoT で『人の成長』を支える夢工場の雇用創出事業」の取り組みの一環として、AI・IoT・ロボット導入による生産性合理化への改善、品質改善に取り組まれている中小企業様へのご支援をさせていただきます。今回は AI のしくみと中小企業における AI 導入の必要性、および実際に AI を導入した企業様の具体例をご紹介します、参加企業様の働き方改革のご参考にしていただけたらと存じます。

基礎講演 「ディープラーニング」最前線と JDLA の取り組み



ディープラーニング技術は、産業、業種を問わず利活用の可能性を持つ汎用目的技術であり、AI ビジネスに変革をもたらす技術です。現在の AI 第三次ブームの中心的存在であるディープラーニングについての簡単な技術説明を加えながら、社会実装に向けた日本ディープラーニング協会 (JDLA) の取り組みを紹介します。

林 憲一 氏

一般社団法人日本ディープラーニング協会 マーケティングディレクター

1991年東京大学工学部計数工学科卒、同年富士通研究所入社。サン・マイクロシステムズ、マイクロソフトを経て、2010年にNVIDIAに入社。エンタープライズマーケティング本部長として従事。2019年1月退職。同年3月GDEP アドバンス Executive Adviser に就任。日本ディープラーニング協会のG検定及びE資格取得。同協会 Marketing Director も務める。

事例講演1 ものづくりにおける AI の導入事例



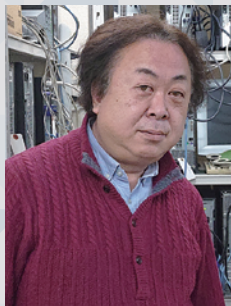
現在、AI は第3次ブームと言われ、様々な革新的アルゴリズムが考案されるとともに、その応用についても広く研究開発が進められています。しかし、日本企業における AI の導入率は15%程度と、まだまだ普及の余地が残されています。本講演では、AI がどのような場面に導入されているのか、具体的な事例を交えて紹介します。

橋田 泰彦 氏

株式会社知能情報システム

株式会社知能情報システム 研究開発部所属のソフトウェアエンジニア。2007年まで京都大学大学院農学研究科にて約10年間食品加工酵素の研究に従事したのち、2017年まで京都大学物質・細胞統合システム拠点にて10年間カーボンナノチューブを利用したドラッグデリバリーの研究に従事。2017年に知能情報システムに入社し、現在はディープラーニング関連案件を担当している。

事例講演2 人工知能運用時代のリスク



人工知能を使ったシステムを運用した結果、今までには考えられなかった様々な問題が発生します。人工知能システム開発者はもちろん、人工知能利用者にも災いの芽は迫っています。そんな、「人工知能運用時代におけるリスク」について、既に人工知能でのシステム開発で多数実績のある現場からお伝えします。

後藤 哲 氏

アイ・オーシステム株式会社 取締役 CTO

アイ・オーシステム株式会社最高技術責任者・応用情報処理技術者・行政書士。京都府出身。中学生時代からプログラミングに興味を持ち、ゲームの雑誌投稿などを行う。8ビットマイコンからUNIXサーバーまで多彩なシステムでのプログラミングをカバーしている。特にインターネットサーバーアプリケーション、画像処理分野、CAD 分野などで多数の開発実績を持つ。

特別講演 edge AI の最前線と中小企業が AI を活用するためのシステム構築

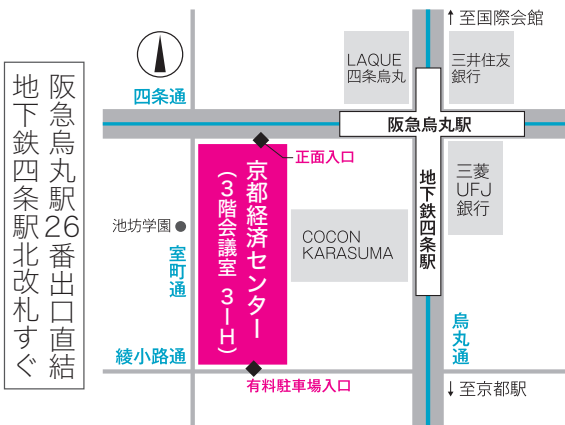


AI 技術の進化に伴う積極的な活用がグローバルで進んでいる。AI の活用をクラウドシステムにて行う方式に加え、既にエッジで行う方向が現実化し始めてきた。一方、日本は AI の技術、活用の面で必ずしもグローバルの先端グループには及ばないと考える。IT 技術、活用において、日本は完全にグローバル競争に取り残されたと考えると、AI 分野においてこれを繰り返さないために何をなすべきかを考え、行動する必要性がある。この講演において、これらについての考えを述べる。

西口 泰夫 氏

Gyrfalcon Technology Japan KK 代表取締役会長兼 CEO 博士(技術経営)

1975年京セラ株式会社入社、1999年代表取締役社長、2005年代表取締役会長兼 CEO、2009年同志社大学大学院ビジネス研究科客員教授、2015年株式会社ソシオネクスト代表取締役会長兼 CEO。現在 Gyrfalcon Technology Japan KK 代表取締役会長兼 CEO、同志社大学技術企業国際競争力研究センター 客員教授



会場

京都経済センター 3 階会議室 (3-H)
京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地

申込

下記 URL よりお申込みください。参加費は無料です。申込多数の場合はお断りさせて頂くことがあります。ご了承ください。
<https://www.kri.or.jp/contact/20200214.html>



問い合わせ

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構
次世代活躍PJ事務局
TEL: 0774-98-2230 Mail: kj-pj@kri.or.jp

本事業は、京都府が厚生労働省の「地域活性化雇用創造プロジェクト」の採択を受けて、京都府・京都市をはじめとする産学公・公労使の「オール京都」体制で実施する「京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト」の一環として取り組むものです。